

平成23事業年度

決算報告書

国立大学法人佐賀大学

(様式2)

平成23年度 決算報告書

国立大学法人佐賀大学

(単位：百万円)

区分	予算額	決算額	差額 (決算－予算)	備考
収入				
運営費交付金	11,074	10,482	△592	(注1)
施設整備費補助金	310	81	△229	(注2)
船舶建造費補助金	—	—	—	
補助金等収入	—	401	401	(注3)
国立大学財務・経営センター —施設費交付金	52	52	—	
自己収入	19,742	20,539	797	
授業料、入学料及び検定 料収入	4,530	4,395	△135	(注4)
附属病院収入	15,068	15,977	909	(注5)
財産処分収入	—	—	—	
雑収入	144	167	23	(注6)
産学連携等研究収入及び寄 附金収入等	1,511	1,532	21	(注7)
引当金取崩	83	67	△16	(注8)
長期借入金	1,747	—	△1,747	(注9)
貸付回収金	—	—	—	
承継剰余金	—	—	—	
旧法人承継積立金	—	—	—	
目的積立金取崩	—	—	—	
計	34,519	33,154	△1,365	
支出				
業務費	30,064	28,123	△1,941	
教育研究経費	10,197	13,227	3,030	(注10)
診療経費	19,867	14,896	△4,971	(注11)
施設整備費	2,109	133	△1,976	(注12)
船舶建造費	—	—	—	
補助金等	—	292	292	(注13)
産学連携等研究経費及び寄 附金事業費等	1,511	1,404	△107	(注14)
貸付金	—	—	—	
長期借入金償還金	835	830	△5	(注15)
国立大学財務・経営センター —施設費納付金	—	—	—	
計	34,519	30,782	△3,737	
収入－支出	—	2,372	2,372	

○予算と決算の差異について

- (注1) 運営費交付金については、退職手当の支給額の減少及び業務達成基準を適用した事業の繰越により、予算金額に比して決算金額が592百万円少額となっています。
- (注2) 施設整備費補助金については、主として(医病)病棟・診療棟の事業が翌年度に繰越なったため、予算金額に比して決算金額は229百万円少額となっています。
- (注3) 予算段階では予定していなかった補助金の獲得に努めたため、予算金額に比して決算金額が401百万円が多額となっています。
- (注4) 授業料、入学料及び検定料収入については、授業料の徴収対象となる在学者数が減少したこと等の理由により、予算金額に比して決算金額が135百万円少額となっています。
- (注5) 附属病院収入については、患者数や手術件数の増などに伴い増収となったことから、予算金額に比して決算金額が909百万円多額となっています。
- (注6) 雑収入については、主として特許権実施料の増収により、予算金額に比して決算金額が23百万円多額となっています。
- (注7) 産学連携等研究収入及び寄附金収入については、主として寄附金等の獲得に努めたことから予算金額に比して決算金額が21百万円多額となっています。
- (注8) 任用計画の見直しにより、引当計上目的に従って当年度に使用した額が減少したため、予算金額に比して決算金額が16百万円少額となっております。
- (注9) 長期借入金については、借入時期の変更により、予算金額に比して決算金額が1,747百万円少額となっています。
- (注10) 教育研究経費については、予算計画時に人件費の一部を診療経費に計上していたこと等により、予算金額に比して決算金額が3,030百万円多額となっています。
- (注11) 診療経費については、(注10)に示した理由及び経費の節減に努めたため、予算金額に比して決算金額が4,971百万円少額となっています。。
- (注12) (注2)及び(注9)に示した理由等により、予算金額に比して決算金額が1,976百万円少額となっています。
- (注13) (注3)に示した理由等により、予算金額に比して決算金額が292百万円多額となっています。
- (注14) 産学連携等研究経費及び寄附金事業費等については、執行計画を見直したことからより107百万円少額となっています。なお、前年度からの繰越額による使用額は584百万円となっています。
- (注15) (注9)に示した理由等により、予算金額に比して決算金額が5百万円少額となっています。